

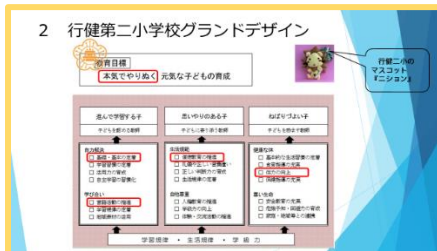
# 第1回協議会だより 《北方部》



令和6年6月4日（火）15:00～16:40 総合福祉センター 研修室2・3

## 【実践発表】 郡山市立行健第二小学校

「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～



行健第二小学校の実践発表では、初めに「幼保小架け橋プログラム」について触れ、就学前後は生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期であることを示しました。本校のスタートカリキュラムでは、幼稚園、保育所等で育まれた「10の姿」を全職員で共有し、育まれた資質・能力が円滑に接続できるように生活科を中心とした合科的な指導や生活面、家庭や地域、幼稚園等との連携について立案されています。この計画に基づいて1週ごとに学習予定表を作成し、保護者に対してもこれらを周知することで、家庭の協力を得ながら実践しています。

具体的には、2年生や6年生との交流活動や運動会等について、スライドを通して伺いました。上記中央写真は、近隣の保育園児が体験入学に訪れた様子です。黄色い帽子の子が園児で、一緒に音楽の授業を受けています。黒板には「がっこうはたのしいよ なかよし」とメッセージがありました。丁寧に温かく対応している姿勢に感動しました。

## 【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



### ☆ 行健第二小学校の発表について

- ・入学した1年生が安心して学校生活を送るために、全職員が共通理解を図りスタートカリキュラムを実践していることがわかりました。異学年交流では、互いに学びあうことや達成感等も養われることと思います。
- ・幼稚園、保育所児童の学校訪問を積極的に受け入れている姿勢が素晴らしいです。子どもたちが実際に学校を見ることで、子どもたちの不安も解消され、円滑な接続に有効であると思います。コロナで訪問ができなかったが、これを機に再開できればと思います。

### ☆ テーマ「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～について

- ・子どもたちの育ちをよく理解するうえでも、就学児健康診断の時期よりも早い段階で、幼稚園、保育所等と就学予定先の学校間で、保育士と教諭が面談をする機会を設けるなどの情報交換が必要ではないか。

### 《参加者からのアンケートから》

- ・小学校の先生方も、日々子どもたちのためにより良い生活を考えくださっていることに感謝します。幼保小の関わりや情報交換の重要性を感じました。（幼稚園：参加者）
- ・行健第二小学校のスタートカリキュラムや異学年交流について、とても参考になりました。また、校長先生が複数参加され直接お話を伺うことができ、とても貴重な機会でした。（保育所：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。